

目次

[概要](#)

[FireSIGHT システムのサポートされる機能および機能](#)

[関連情報](#)

概要

ハードウェアモデルによっては、FireSIGHT システムで有効にすることができる機能は異なるかもしれません。この資料は Cisco FireSIGHT システムのさまざまなハードウェアモデルのサポートされる機能および機能の外観を提供したものです。

注: 機能を有効にするために、(別名防御センターか DC) FireSIGHT Management Center にフィーチャー ライセンスを追加する必要があり、次に管理対象装置でそれを適用します。管理対象装置でライセンスをローカルでインストールするために必要となりません。

FireSIGHT システムのサポートされる機能および機能

保護	Control
これらの管理 アプライアンス モデル サポート すべての管理対象装置はこれらの機能の何れかと模倣します。	
DC500 は保護 ライセンスの管理対象装置をサポートしますが、安全保障局機能はサポートされません。	DC500 はコントロール ライセンスの管理はサポートされません。
FirePOWER デバイスはこれらの機能すべてをサポートします。	
5.2.x を実行するシリーズ 2 デバイスは安全保障局機能を除いて保護機能が自動的にあります。	シリーズは 2 つのデバイス コントロール、
仮想デバイス モデル サポート記憶保護機構。	コントロール ライセンスは仮想デバイスでベース機能でも、ルーティングのよう

注: レガシー RNA 及び RUA フィーチャー ライセンスは DC500、DC1000 および DC3000 モデルでサポートされるかもしれません。ただし、Cisco は FireSIGHT Management

Center のハードウェア互換性に一致するユーザ制限を超過することを推奨しません。

関連情報

- [FireSIGHT システム上の機能ライセンスの比較](#)